

肝臓切除術を受けられるID: 様へ

バスコード：08018 世代：4

発行日:1900/01/00

経過	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2～7日目	術後8～11日目	術後12日目 退院
月日	/	/	/	/	/	/	/
達成目標	☐ 手術に必要な準備ができる。 ☐ 不安なく落ち着いて手術を受けることができる		☐ 術後の安静を守ることができる ☐ 症状や苦痛の有無を表出できる	☐ 看護師とともに歩くことができる ☐ 症状や苦痛の有無を表出できる	☐ 傷の痛みのコントロールが行え、日常生活を支障なく行うことができる	☐ 退院後の注意点が理解できる	
治療			☐ 酸素吸入を行います ☐ 心電図を付けます ☐ 翌朝まで頻回に全身状態の観察を行います	☐ 酸素吸入と心電図を外します ☐ 傷の状態をみます	☐ 傷の状態をみます ☐ 術後3日前後でお腹に入っている管が抜けます(個人差があります)		
処置	☐ おへその処置をします ☐ 下肢の測定をします ☐ 爪きり、ひげそりをして下さい ☐ マニキュアはおとして下さい ☐ 指輪を外して下さい	☐ 静脈血栓予防のストッキングをはきます ☐ 入れ歯、時計、指輪、ピンなど外して下さい					
点滴			☐ 点滴は手術室でします		☐ 術後4日目、食事を半分以上摂取できれば点滴が抜けます		
検査			☐ 手術後から血糖を測定します	☐ 採血があります ☐ レントゲンがあります	☐ 術後3日目、5日目、7日目に採血があります ☐ 術後3日目にレントゲンがあります		
食事	☐ 夕食以後、食事はできません ☐ 19時よりOS-1、水、お茶のみ摂取可です	☐ 食事はできません ☐ 水分摂取は（ ）時までです	☐ 食事はできません ☐ 医師に確認後水分摂取ができます（看護師より説明があります）	☐ お昼から重湯が始まります	☐ 術後2日目、朝から3分粥へ変更します 術後4日目、5分粥に変更します ☐ 術後6日目に腹部の状態が問題なければ普通食へ変更します		
くすり	☐ 持参薬の確認をします ☐ 夕食後に下剤を内服します	☐ 持参されたお薬は、医師の指示がない限り内服しないで下さい（看護師より説明があります）		☐ 内服薬の再開の予定です 看護師より説明があります			
活動・安静度	☐ 特に制限はありません ☐ リハビリを開始します		☐ 手術後はベット上で安静にして下さい ☐ 床ずれ予防のため体の向きを変えるお手伝いをします	☐ 歩行が出来ます ☐ 手術後初めて歩く時、看護師が付き添います	☐ 制限はありません		
清潔	☐ おへその処置後に、シャワー浴してください			☐ 清拭タオルで体を拭きます	☐ 傷の状態が問題なければシャワー浴できます		
排泄			☐ 手術室で尿の管を入れます	☐ 午前中に、尿の管を抜きます その後、トイレに行けます	☐ トイレに行けます		
患者様及び家族への説明	☐ お名前確認のため、ネームバンドを付けます ☐ 手術前後の流れについて看護師より説明します ☐ 手術までに看護師より呼吸の方法やうがいの仕方の説明があります ☐ 手術までに看護師より準備物品の確認があります ☐ 手術室看護師の訪問があります 【手術に際して準備していただく物】 ☐ テープ式オムツ1～2枚 ☐ 吸い飲みまたはストローとコップ わからない点や質問があれば遠慮なく看護師にお尋ね下さい	☐ 手術は（ ）からの予定です。なお、他の手術の進行具合により時間が変更になることがあります ☐ 紙オムツは鞆の中から出して、棚の中に置いてください ☐ 手術前にむくみ予防の靴下をはきます	☐ 主治医よりご家族に手術内容についての説明があります ☐ 手術前に説明した、呼吸法やうがいができるようにお手伝いします ☐ 痛みのあるときは我慢をせずナースコールでお知らせ下さい	☐ 痛みのあるときはお知らせ下さい	☐ 痛みのあるときはお知らせ下さい ☐ 術後7日目に栄養士より食事指導があります （ / ）	☐ 痛みのあるときはお知らせ下さい ☐ 退院後の生活について看護師より説明があります	☐ 10時頃退院となります

退院後このような症状が出たら受診して下さい

38 以上の発熱

傷が赤い、痛い

食欲がなく食事が食べられない

体重が毎日増え、手足のむくみ、お腹のはりがある

尿の回数が減っており、色が紅茶色になってくる
便に血が混じっている、黒い、白い便が続く

少し歩くだけで、息切れや呼吸困難がある

ボーっとすることが多い、手や足が震えることがある

肌や眼球が黄色くなる

体のだるさが強くなる

その他日常生活について

退院後からデスクワーク・立ち仕事が可能です

力仕事・スポーツに関しては、医師に相談して下さい

注）この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

大阪南医療センター クリニカルバス委員会 2026/3/26承認

主治医：_